

THE すまいの保険
(個人用火災総合保険)お見積書

基情本報	<保険始期> 令和 3年 1月 7日 <所在地> 千葉県	<物件情報> 専用住宅	<構造級別> T構造 <職作業名> 住宅用
評価情報	<建物情報> <建築年月> 令和 3年 1月	評価額の基準日は保険期間の始期日となります。	
		<延床面積> 78.000㎡ <専(占)有面積> 78.000㎡	

評価/保険金額/保険料	プラン	プランA		プランB		プランC		
	建物	保険期間 [基本/地震]	10年間		10年間 / 始期から1年		10年間 / 始期から1年	
	評価・支払基準 協定再調達価額	新価・実損払 (評価済)		新価・実損払 (評価済)		新価・実損払 (評価済)		
		20,000 千円		20,000 千円		20,000 千円		
		基本保険金額 / 保険料	20,000 千円	70,440円	20,000 千円	70,440円	20,000 千円	70,440円
		地震保険金額 / 保険料	千円		10,000 千円	13,800円	10,000 千円	13,800円
(貴金属等以外)	評価・支払基準					新価・実損払 (罹災時再評価)		
	評価額	千円		千円		千円		
(貴金属等)	評価基準							
	保険金額					合計100万円まで補償		
家財	基本保険金額 / 保険料	千円		千円		5,000 千円	29,190円	
	地震保険金額 / 保険料	千円		千円		千円		

補償内容		「 」...補償されます 「×」...補償されません	
事故(損害)保険金	火災、落雷、破裂・爆発	「損害の額 - 自己負担額 1」 2 (保険金額の2倍 (復旧費用は保険金額)を限度)	「損害の額 - 自己負担額 1」 2 (保険金額の2倍 (復旧費用は保険金額)を限度)
	風災、雹災、雪災		
	水災	×	×
	建物外部からの物体の落下・飛来、水濡れ、騒擾、盗難	自己負担額 (損害保険金に適用) なし (不測かつ突発的な事故は1万円)	自己負担額 (損害保険金に適用) なし (不測かつ突発的な事故は1万円)
	不測かつ突発的な事故		
地震保険	×		
費用(費用)保険金	地震火災費用保険金	保険の対象の保険金額×5%	保険の対象の保険金額×5%
	凍結水道管修理費用保険金	実費 (限度額: 10万円)	実費 (限度額: 10万円)
	臨時費用保険金	損害保険金×10% (限度額: 100万円または保険金額×10%のいずれか低い額)	損害保険金×10% (限度額: 100万円または保険金額×10%のいずれか低い額)

補償を追加する特約等/保険料	プランA		プランB		プランC	
	借家人賠償責任	×		×		×
	修理費用	×		×		×
	個人賠償責任	×		×		×
	施設賠償責任	×		×		×
	携行品損害	×		×		×
	類焼損害	×		×		×
	家賃収入	×		×		×
	事故対応等家主費用	×		×		×
	事故再発防止等費用	×		×		×
	I o T住宅費用 (売電収入)	×		×		×
	I o T住宅費用 (サイバーリスク)	×		×		×
	地震火災 (50° ラン・30° ラン)	×		×		×
	営業用什器・備品等損害	×		×		×
商品・製品等損害	×		×		×	

その他特約・割増引	・ 築年数別割引	・ 築年数別割引 ・ 耐震等級 (3級) 割引	・ 築年数別割引 ・ 耐震等級 (3級) 割引 ・ 建物・家財セット割引
-----------	----------	----------------------------	--

払込方法	長期一括払	長期一括払	長期一括払
合計 (各回) 保険料	70,440 円	84,240 円	113,430 円
年額保険料	円	円	円

1: 保険金をお支払いする事故が発生した場合に、被保険者が自己負担するものとして設定する金額をいいます。
 2: 損害の額は、保険の対象を事故発生直前の状態に復旧するために必要な費用 (復旧費用) のほか、復旧に付随して発生する費用を含みます。建物について全損の場合は自己負担額を差し引きません。
 保険金額の設定、保険の対象の種類等により、損害額の全額が補償されない場合があります。
 地震保険では、所定の確認資料のご提出により、築年割引、耐震等級割引、免震建築物割引または耐震診断割引が適用される場合があります。
 このお見積書は、概要を説明したものです。保険の詳細な内容は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。



株式会社ナイスワン